

第 177 回名古屋大学防災アカデミー

災害かわら版の世界 ～減災館所蔵の原寸大複製を中心に～

江戸時代の人々は、地震や火災・風水害の被災情報をどのように知ったのでしょうか。

災害の頻発した江戸時代後期には、多くの災害かわら版が発行されました。減災館にはこの災害かわら版の原寸大複製が 90 点あります。文字だけのものもあれば、フルカラーのもの、名所絵風のもの、すごろくになっているものなど、様々です。

江戸時代の人々が、どんな風に遠隔地の災害情報を知ったのか、その一端をお話させていただきます。

末松 憲子

名古屋大学減災連携研究センター研究員



令和四年

六月二十一日水曜

午後六時より午後七時半まで

名古屋大学減災館一階減災ホールとオンライン



「あんしん要石」(防災専門図書館蔵)



「諸国大地震大津波未代噺」(防災専門図書館蔵)



減災館所蔵の原寸大複製

◆開催形式：現地参加（事前申込制・限定 40 人）
+ zoom ウェビナー（オンライン）

◆参加費：無料

◆申込方法：

下記 URL または QR コードよりお申込みください。

ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法をご案内します。

◆申込 URL： <https://forms.gle/JLi2qqs4c5DTVUAs7>

◆申込期限：2022 年 6 月 21 日（火）正午まで

主催：名古屋大学減災連携研究センター

問い合わせ：防災アカデミー担当

MAIL: inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp

